



Cisco Unified Presence の管理ページでの ユーザ エージェントの設定

- 「ユーザ エージェントの設定」 (P.15-1)
- 「ユーザ エージェントの検索」 (P.15-2)
- 「ユーザ エージェントの削除」 (P.15-3)
- 「ユーザ エージェントのコピー」 (P.15-4)

ユーザ エージェントの設定

[ユーザ エージェント設定 (User-Agent Configuration)] ウィンドウを使用して、リーチャビリティバージョンを設定します。つまり、Cisco Unified Personal Communicator の旧バージョンとの下位互換性を提供します。デフォルトでは、特別に設定されていないすべてのユーザ エージェントはリーチャビリティバージョン 2 を使用し、この値は RFC 4479 に準拠しています。

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
ユーザ エージェントを追加する	<ol style="list-style-type: none">[プレゼンス (Presence)] > [ユーザ エージェント設定 (User-Agent Configuration)] の順に選択します。[新規追加 (Add New)] をクリックします。
ユーザ エージェントを更新する	<ol style="list-style-type: none">「ユーザ エージェントの検索」 (P.15-2) の説明に従ってレコードを検索します。必要に応じてレコードを編集します。

ステップ 2 表 15-1 の説明に従ってユーザ エージェントの設定値を入力します。

表 15-1 ユーザ エージェントの設定値

フィールド	説明
クライアント ユーザ-エージェント バージョン (Client User-Agent Version)	クライアント ユーザ エージェント バージョンを指定します。これは自由な形式のテキスト フィールドであり、検証が行われません。 最大文字数 : 255
リーチャビリティ バージョン (Reachability Version)	クライアントがプレゼンス ドキュメントで使用するリーチャビリティ バージョンを次のとおり指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 1 : draft-ietf-simple-rpid-07 2 : RFC 4479

ステップ 3 データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。

- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
- b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

ユーザ エージェントの検索

Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のユーザ エージェントを検索できます。フェデレーション ドメインが複数設定されている場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のフェデレーション ドメインを検索できます。

手順

ステップ 1 [プレゼンス (Presence)] > [ユーザ エージェント設定 (User-Agent Configuration)] の順に選択します。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 4](#)に進みます。

ステップ 3 レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
- 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。

ステップ 4 [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 5 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
レコードを表示する	該当するレコードのリンクをクリックします。
レコード リストのソート順序を逆にする	リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

関連項目

「Web ブラウザ セッション」(P.1-7)

ユーザ エージェントの削除

手順

- ステップ 1** ユーザ エージェントを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するユーザ エージェントを選択します。
- ステップ 3** ユーザ エージェントを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
選択したレコードを削除する	<p>a. 該当するレコードをオンにします。</p> <p>b. 次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。
すべてのレコードを削除する	<p>a. [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。</p> <p>b. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。</p>

トラブルシューティングのヒント

ユーザ エージェントが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。

関連項目

「ユーザ エージェントの検索」(P.15-2)

ユーザ エージェントのコピー

手順

-
- ステップ 1** ユーザ エージェントを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、コピーするユーザ エージェントを選択します。
- ステップ 3** データをコピーするには、次のいずれかの操作を実行します。
- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [コピー (Copy)] アイコンをクリックします。
 - b. ウィンドウの下部にある [コピー (Copy)] をクリックします。
- ステップ 4** 表 15-2 の説明に従ってユーザ エージェントの設定値を入力します。

表 15-2 ユーザ エージェントの設定値

フィールド	説明
クライアント ユーザ-エージェント バージョン (Client User-Agent Version)	クライアント ユーザ エージェント バージョンを指定します。これは自由な形式のテキスト フィールドであり、検証が行われません。 最大文字数 : 255
リーチャビリティ バージョン (Reachability Version)	クライアントがプレゼンス ドキュメントで使用するリーチャビリティ バージョンを次のとおりに指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 : draft-ietf-simple-simple-rpid-07 • 2 : RFC 4479

- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

関連項目

「ユーザ エージェントの検索」(P.15-2)